



刻歩極頂

長井市立西根小学校
学校だより第12号
令和5年10月27日

「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一歩一歩の歩みを大切に 頂上にたどり着く
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

子供たちの生き生きとした活動が続く

皆様のご協力をいただきながら、連日、子供たちの生き生きとした活動が続いています。

10月20日(金)、様はじめ白山森花グループの皆様のご厚意により、今年も3年生がサツマイモ掘りを体験させていただきました。いい土で育った元気なサツマイモを夢中になって掘り、その後、甘くて美味しいふかし芋をたくさんご馳走になりました。最高で8切も食べた子もいました。新記録かもしれない。白山森花グループの皆様、毎年、本当にありがとうございます。

10月12日(木)、好天に恵まれ、持久走記録会が行われました。どの学年の子供たちも力いっぱいいい走り。そして、どの子にも温かい応援をしていました。たくさんの応援、ありがとうございました。

10月13日(金)北中生のボランティア活動で、本校には男女バレー部の皆さんが来校し、小学生の力ではなかなかできない場所の掃除を見事にやってくれました。本当にありがたく思っています。

さて、次は、10月28日(土)の学習発表会で一人一人が輝くよう、取り組んでまいります。



3年生が夢中になってサツマイモ掘りをさせていただきました



全校生、力いっぱいの走りを見せた持久走記録会



北中生の見事なボランティア活動

11月の予定

1	水		11	土	やまがた教育の日	21	火	地区教育座談会 3年消防署見学 5年GTEC
2	木	委員会活動	12	日		22	水	
3	金	文化の日	13	月	ぐんぐん（読み聞かせ）	23	木	勤労感謝の日 子育連ドッジボール
4	土		14	火		24	金	クラブ活動（最終）
5	日		15	水		25	土	
6	月	ぐんぐん（読み聞かせ）	16	木	月例テスト④（算）	26	日	
7	火		17	金	学校研究発表会（本校）	27	月	
8	水		18	土	（長井の心発表会）	28	火	心を育む給食週間 弁当・おにぎりの日 地区教育座談会
9	木	学校保健委員会 読書お楽しみ週間（～17日）	19	日		29	水	遊具片付け
10	金	フリー参観日 ネットトラブル防止教育	20	月		30	木	いなほ号

<ミニコラム> 子供の心とことばを育てるために（その15）

「投影同一視」について

先日、ある学年の学習発表会の練習の後、私（校長）も道具の移動を手伝っていたら、「校長先生も道具の移動をしてくださるんですか。ありがとうございます。」と言ってくれた子供たちがいました。なんて気持ちのいい子たちなのだろうと感激し、こんな優しい心の子供たちが育っているのには、何か大切なポイントがあるに違いないと思いました。

子供の心とことばの成長、その原点を私は次のように考えます。

「心を育てる」というと、まるで道徳の授業みたいですが、もっともっと以前から子供の心は発達しています。乳幼児期から、「子供の心は、親の心をすり合わされて育つ」といいます。

子供の心は、0歳から6歳にかけて、まず「快」と「不快」から分化し、その中間の感情が複雑に育っていきます。1歳くらいまでに「興奮」「愛情」「得意」「怒り」「恐れ」などに分化します。

この時、大人の表情、大人のことば、共有化できる視線等を、見て、まねすることによって、子供の心（感情）は育っていきます。これを、「投影同一視」といい、親（特に母親）の感情が子供にすり合わされていくのです。そうして子供の心は育ちます。

子供と一緒に楽しく活動して、「楽しいね」「おもしろいね」「おいしいね」「びっくりしたね」……。そんな「心のことば」を共感とともにかけてあげることが、心を育てる第一歩になります。

その意味で、子供の心が育つうえで大切なのは、もちろん乳幼児期。それも、子供が小さければ小さいほど、その影響は大きいように思います。一生、影響が残る、それもあり得るのです。そんな乳幼児期の大切さを、若いお母さんやお父さんにお伝えしたい、そんな思いをずっと持ちながら、私は教師と相談員の仕事を続けてきました。

難しいことではありません。「お花きれいだね」と言いながら、同じ花を見つめる親子でありたいですね。親子で同じ向きの視線のベクトルを共有して。